

援農ボランティア受入先農家を募集します！

市では現在 50 名ほどの援農ボランティアが活動しておりますが、ボランティア活動を受け入れる農業者が少なく、活動できる場が少ないので現状です。当市の援農ボランティアは、稲城農業の発展に貢献したい熱い思いをお持ちの方々ばかりですので、市内農業者の皆様には是非ボランティアの受入をお願いいたします。

援農ボランティア受入先農家さんの声

野菜の収穫や除草作業など、手が回らない際に大変助かっています！

農家では固定観念から到底発想しないアイデアを出していただき、新しい取組みを始めることができました！

梨の花粉付けや袋かけ等で人手が足りない際にお願いしました！

作業内容

野菜・果樹・茸・花卉栽培にかかる様々な作業
(播種から収穫まで、その他除草作業、堆肥作りなど)

受入時間

1日あたり 2~3 時間程度 (午前または午後)

備考

ボランティア受入にあたり、援農ボランティア紹介農家登録が必要となります。

問合せ先

稲城市役所経済課農政係 042-378-2111 (内線 673)

「農業カレンダー2026」を無料配布中！

市では、農業を PR し市民の皆様に興味や関心を持っていただくため、農作物の栽培に関する一連の流れを記載した農業カレンダーを、認定農業者の組織である認定農業者協議会の監修により作成しました。農業カレンダーは市役所や市内文化センターなどで配布しています。(配布カレンダーは無くなり次第、配布終了です。) 市ホームページよりご自身でダウンロードすることもできます。

農業委員会活動日誌(令和7年9月~11月)

- 9月10日 (水) 第9回稲城市農業委員会総会
- 9月22日 (月) ~24日 (水) 産業まつり農産物品評会・第一弾
- 10月15日 (水) 第10回稲城市農業委員会総会・施策要望
- 10月26日 (日) いなぎ市民まつり・品評会表彰式
- 11月8日 (土) いなあぐりファーム たまねぎ植付
- 11月10日 (月) 第11回稲城市農業委員会総会
- 11月19日 (水) 農地合同調査
- 11月27日 (木) ~29日 (土) 産業まつり農産物品評会・第二弾



© K.Okawara・Jet Inoue

稲城市農業だより No. 154

完

熟

令和7年12月1日発行

発行：稲城市農業委員会

稲城市役所産業文化スポーツ部経済課

所在：稲城市東長沼2111番地

電話：(378) 2111 (内線675)

産業まつり農産物品評会・第一弾を開催しました！

9月22日(月)に第55回稲城市産業まつり農産物品評会・第一弾が開催され、出品された66点の中から、11点が優秀賞に選ばれました。10月26日(日)には、いなぎ市民まつりステージにて、東京都知事賞・稲城市長賞・稲城市議会議長賞を受賞した方々を対象に表彰式を行いました。

また、その他優秀賞を受賞された方々には2月頃表彰状等をお届けいたします。

受賞者の皆様、おめでとうございました！



© K.Okawara・Jet Inoue

部門	優秀賞名	品目	品種	出品者	地域名
梨・ぶどうの部	東京都知事賞	梨	新高	原嶋 英晃	矢野口
	稲城市長賞	梨	あきづき	金井 司	押立
	稲城市議会議長賞	ぶどう	シャインマスカット	篠崎 益朗	東長沼
	大空町長賞	梨	新高	宮崎 盛一	東長沼
	大空町議会議長賞	梨	かおり	田中 利明	東長沼
	東京都農業振興事務所長賞	梨	甘太	横田 章	押立
	東京都農業協同組合中央会代表理事長賞	ぶどう	フジノカガヤキ	篠崎 由梨奈	東長沼
	東京都果実生産団体協議会長賞	梨	新高	金井 梨沙	押立
	稲城の梨生産組合長賞	梨	かおり	笹久保 雅之	矢野口
	稲城市高尾ぶどう生産組合長賞	ぶどう	シャインマスカット	内田 光浩	東長沼
	産業まつり実行委員長賞	梨	豊華	長坂 賢克	矢野口

※敬称は省略させていただきました。

農業用肥料購入経費支援事業

事業内容

長期化する肥料価格の高止まりにより影響を受けた市内農業者の負担軽減のため、農業用肥料の購入経費の一部を支援します。

申請期間

補助金申請（令和7年12月1日から令和8年1月30日まで）

補助率

1/2以内（補助上限5万円）

問合せ先

経済課農政係
TEL042-378-2111 内線673

詳細は
稻城市ウェブサイト
をご覧ください。



剪定枝破碎処理車「タウンビーバー」が新しくなりました！

果樹園などから排出される剪定枝を堆肥に再利用するためのチップ化機能を搭載したタウンビーバー（剪定枝破碎処理車）を更新しました。タウンビーバーを利用いただくことで、剪定枝の運搬や処理にかかる手間やコストを削減し、環境負荷を低減する効果が期待できます。是非とも積極的なご活用をお願いいたします。

ご利用にあたって

△利用料金表

1日	30,000円
半日	15,000円



問合せ先

経済課農政係
TEL042-378-2111 内線673

新規申込募集！

★農業者年金

積立方式（確定拠出型）の公的年金です。貯金をする感覚で、貯蓄の一部を将来のために積立することができます。保険料は社会保険料控除に該当します。

加入要件:次の3つすべてに当てはまる方

- 20歳以上60歳未満
- 国民年金第1号被保険者
- 年間60日以上農業従事

★全国農業新聞

- 毎週金曜日発行（月4回／全国農業会議）
- 農業経営に役立つ情報が満載の新聞です。
- 購読料700円／月（送料・税込）



【問合せ先】農業委員会事務局 TEL042-378-2111 内線675

～農業委員会が令和8年度農業施策要望を行いました～

1 稲城農業の将来に向けての振興

- 火傷病や有機フッ素化合物による農業への影響が発生した場合の支援。
- 梨花粉の確保への協力。
- 経営意欲のある認定農業者を確保できるよう、農業経営改善支援事業補助金の拡充。
- 援農ボランティア推進事業における、果樹に関する知識と経験を有するボランティアの育成およびボランティア受け入れ農家の拡充。
- 農業用資材等の価格高騰に係る救済措置としての「農業用資材等購入経費支援事業補助金」の復活。
- 獣害対策として実施する、電気柵の設置等に対する補助金の新設・拡充。
- 棚栽培設備の脆弱性に鑑み実施する、防鳥網や多目的防災網の張替え及びハクビシン等の忌避設備設置に対する支援。
- ビニールハウスのフィルム、遮光ネットの張替えへの補助。
- 小規模農家に対する新たな基準と補助金の新設。
- 長期間にわたり高温の日が続く近年の夏季の気象に応じた栽培品目の転換等、新たな生産体制への移行に対する支援の創設および、農作物の新品種開発の取組に関する国や都への要請。

2 環境保全型農業の推進

- これまで着実に推進されてきた、地域環境負荷低減による持続可能な農業をさらに進めるための減農薬促進補助事業の拡充。
- 防薬シャッター設置等支援に係る条件緩和。
- 地産地消の推進として、学校給食野菜の納入農家への補助の拡充。

3 都市農地保全のための取り組み

- 都市農地を維持するため、相続税納税猶予制度の堅持要請や、都市農業振興基本法の取組に関する情報収集及び周知活動の促進。
- 農業用施設や農業用機械に係る固定資産税（償却資産）が農業経営にとって負担となっていることを踏まえた関係機関に対する軽減措置の要請。
- 生産緑地の追加指定の推進。
- 大丸用水を始めとする市内農業用水の保全。

4 農業者と市民との交流の推進

農業に対する理解や農家との交流・信頼を深める、農にふれあう「市民交流事業」の充実。また、農家開設型市民農園・農業体験農園の拡充。

5 農業委員会が実施する事業への支援

- 講習会や視察研修、農地パトロール、市民への広報等の活動に対する理解並びに支援。
- 市、農業委員会、農業協同組合の3者連携による、市内農家に対する農業情報の周知活動に対する理解並びに支援。